

平成 23 年度 京都大学大学院理学研究科 (数学・数理解析専攻)

数学系 入学試験問題

外国語

- ⊗ 問題は 2 題ある. 2 題とも解答せよ.
- ⊗ 解答時間は 1 時間 である.
- ⊗ 辞書を用いてもよい. (ただし電子辞書は除く.)

[注意]

1. 指示のあるまで開かぬこと.
2. 解答用紙・計算用紙のすべてに, 受験番号・氏名を記入せよ.
3. 解答は各問ごとに別の解答用紙を用い, 問題番号を各解答用紙の枠内に記入せよ.
4. 1 問を 2 枚以上にわたって解答するときは, つづきのあることを用紙下端に明示して次の用紙に移ること.
5. 提出の際は, 解答用紙を問題番号順に重ね, 計算用紙をその下に揃え, 記入した面を外にして一括して二つ折にして提出すること.
6. この問題用紙は持ち帰ってよい.

① 次の文章を和訳せよ.

...

(原文省略)

...

(出典: C.T.C. Wall “Singular points of plane curves” より)

② 次の問を英訳し, それに英語で答えよ.

体 k 係数の 1 変数多項式 $f(x) \in k[x]$ の次数を定義するとき, 零多項式 $f(x) = 0$ の次数を $-\infty$ とするのが望ましいと思われる理由を説明せよ.